





代表取締役社長

佐野嘉彦

患者さまや医療従事者の皆さまに 安心・安全にお使いいただける製品を提供するために

平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、ここに当社第65期(2017年4月1日から2018年3月31日まで)の株主通信をお届けさせていただきますので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。



なお、期末配当につきましては、今後の事業展開および資金需要等に鑑み内部留保資金とのバランスに配慮し、1株につき11円とさせていただきます。

第65期 通期実績 (単位:百万円)

| | 第64期 | 第65期 | 前期比 |
|-----------------|---------|---------|-------|
| 売上高 | 359,699 | 395,397 | +9.9% |
| 営業利益 | 28,770 | 27,088 | △5.8% |
| 経常利益 | 23,166 | 22,684 | △2.1% |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 11,346 | 11,829 | +4.3% |

当期業績の総括をお願いします。

ニプログループは、引き続き売上の拡大と、生産コストの低減に全力で取り組み、ユーザーの願いをいち早く実現することを目標に業績向上に努めてまいりました。

この結果、当期の実績は以下のとおりとなりました。また、セグメント別の概況については、3~4ページに記載のとおりであります。

2017年度における事業展開について

2017年度は、米国による内向き政策に端を発し、世界秩序が揺るぎ始めた一年でした。

しかし、そのような状況下においても、ニプログループはさらなる発展を目指し、ユーザー目線をモットーにダイアライザの増産体制の構築や海外における医療従事者向け透析研修施設の開設、またニプロESファーマ(株)をニプログループの一員に加えジェネリック医薬品の競争力強化を図るなど、多方面に向け精力的に活動してまいりました。

2018年度における事業展開について

厚生労働省による在宅医療推進施策を受け、ニプロは、ICT*を活用したオンライン診療サポート機能付き見守り支援システム「ニプロハートライン™」の提供を開始しました。これは、インターネットを通じ在宅医療患者さまと医療従事者の皆さまをリアルタイムにつなぐことにより、在宅医療患者さまへのケアの品質向上と医療業務の効率化を促進するシステムです。高齢社会におけるさらなる需要拡大を見込み、引き続きサービス向上に努めてまいります。

また、2018年4月の組織改定では、バスキュラー事業のさらなる拡大を目指し、(株)グッドマンの営業部門をニプロのバスキュラー事業部に統合し、新体制を構築

しました。今後、国内外において、バスキュラー製品の販売基盤の確立を推し進めてまいります。

※ICT: Information and Communication Technologyの略称。
情報通信等に関連する技術、サービスなどの総称。

株主の皆さまへのメッセージ

各国の政情不安に揺れる世界情勢のなかでも、ニプログループはユーザー目線をもって各国のニーズを吸い上げ、患者さまや医療従事者の皆さまに安心・安全にお使いいただける製品の提供に努めてまいります。

引き続き、2020年度連結売上高5,000億円、同売上総利益率40%、同営業利益率15%、2030年度同売上高1兆円達成を目指してまいりますので、株主の皆さまには、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



セグメント別の概況

医療関連事業

売上高

3,001億17百万円



国内販売

メディカル営業部門は、注射・輸液関連製品、経腸栄養関連製品、検査関連製品、透析関連製品、バスキュラー関連製品、心臓外科（CVS）関連製品の全分野で堅調に推移。

特に、透析関連製品のHDFフィルター、バスキュラー関連製品の薬剤溶出型バルーンカテーテル、心臓外科関連製品の

植込み型補助人工心臓の売上が大きく伸長。

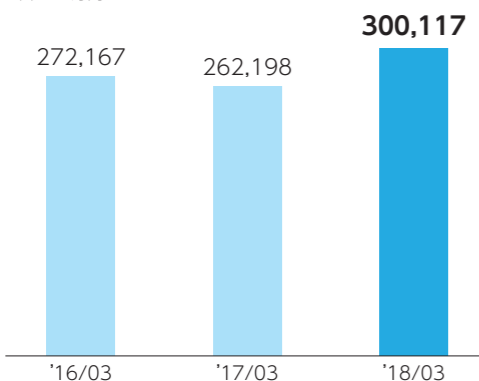
医薬営業部門では、当社医療研修施設を活用した勉強会など地道な活動がニプロブランドの向上につながり、既存品、2017年6月と12月の追補収載品の売上増につながった。また、当社初のオンライズド・ジェネリックを2018年3月に発売し、初月に大きく市場を獲得し、売上・利益に寄与。

海外販売

透析関連製品、ホスピタル関連製品の販売強化により伸長。また、新型透析装置の販売が好調で、売上に貢献。

さらに、最重要市場と位置づける米国・中国・インドにおいて透析関連製品の売上が順調に伸長。

単位：百万円



医薬関連事業

売上高

668億46百万円



受託製造

それぞれの剤形における製剤設計からの開発受託、付加価値の向上、差別化を目指したライフサイクルマネジメントの支援など多様な受託営業に注力。

高薬理活性医薬品製造棟等専用ラインにおける受託製造、海外生産拠点での受託

製造に注力。

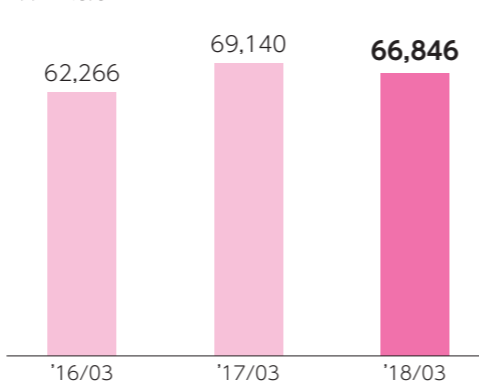
医薬品包装容器・医薬品調整・投与デバイス

医療現場における多岐にわたるニーズに対して、各々の医薬品に適した容器、投与システムを提供することで順調に推移。

また、医療費抑制政策のもとで、国内外の製薬メーカーと、将来のコンビネーション製品化、自己注射システム化、剤形・投与経路変更を視野に入れた総合的な医薬品のライフサイクルマネジメントによる協力を行った。

しかしながら、長期収載品およびジェネリック医薬品の製造数量が減少し、売上減少。

単位：百万円



ファーマパッケージング事業

売上高

284億4百万円



従来の商材のほか、高機能・高品質な医薬用包装商材を開発し、製薬メーカー研究部門へ積極的な技術営業を推進。注射剤と充填工程に対応した安定した高品質・高付加価値製品、技術開発を国内外で推進。

海外部門

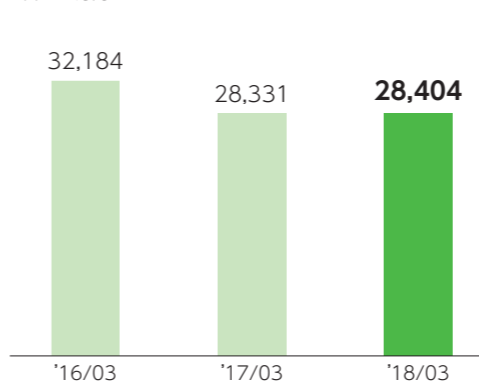
欧州ではシリンジ、米国ではバイアルの販売が伸長。

中国では高付加価値バイアル・アンプルの販売を強化。インドでは高品質ガラス管、バイアルの販売が堅調に推移。

国内部門

ガラス管販売は苦戦したものの、シリンジを中心に堅調に推移。魔法瓶用ガラスバルブは加工メーカーにおける生産調整の影響を受けたものの、利益は前期を上回った。

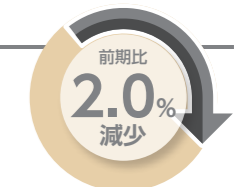
単位：百万円



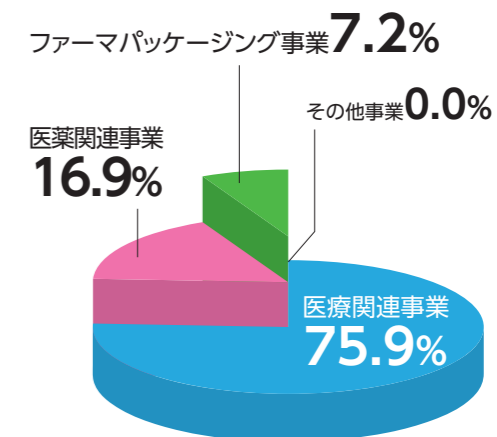
その他事業

売上高

29百万円



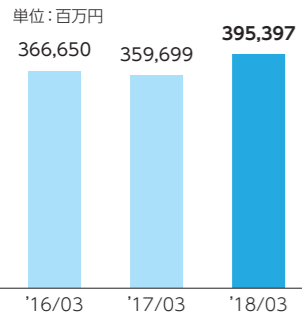
セグメント別構成比



連結財務ハイライト

売上高

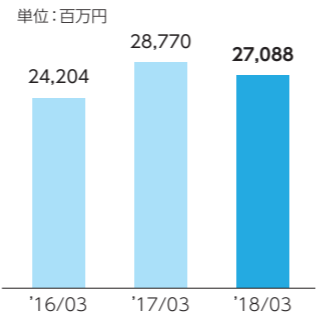
395,397
百万円



医療関連事業の好調により増加しました。

営業利益

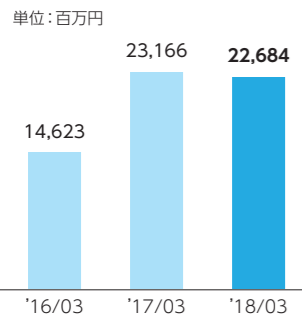
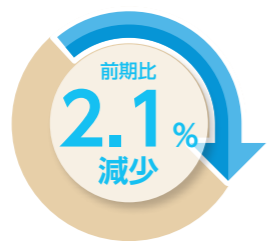
27,088
百万円



再生医療、ジェネリック医薬品の開発を積極的に推進したことにより販売管理費が大幅に増加し、営業利益は減少しました。

経常利益

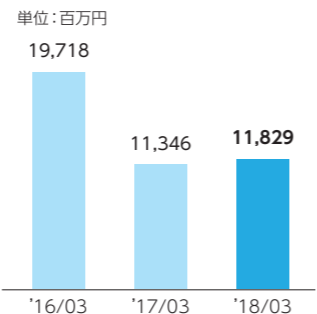
22,684
百万円



営業外費用は減少したものの、経常利益は減少しました。

親会社株主に帰属する当期純利益

11,829
百万円

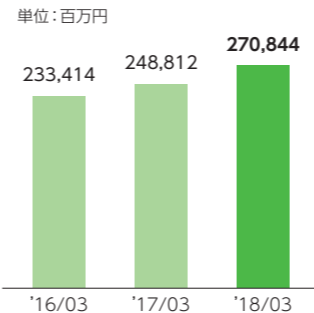


特別損失の計上があったものの、税効果会計の処理による法人税等の減少により、親会社株主に帰属する当期純利益は増加しました。

単体財務ハイライト

売上高

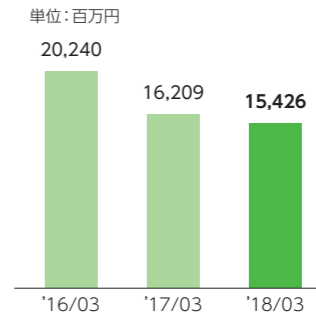
270,844
百万円



補助人工心臓、循環器関連製品が伸長し、売上高は増加しました。

営業利益

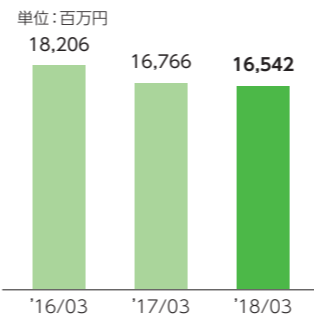
15,426
百万円



売上原価、販売費及び一般管理費ともに増加したことに伴い営業利益は減少しました。

経常利益

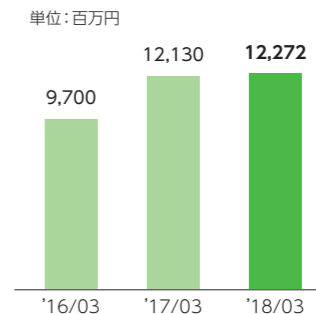
16,542
百万円



営業外収益は増加したものの、経常利益は減少しました。

当期純利益

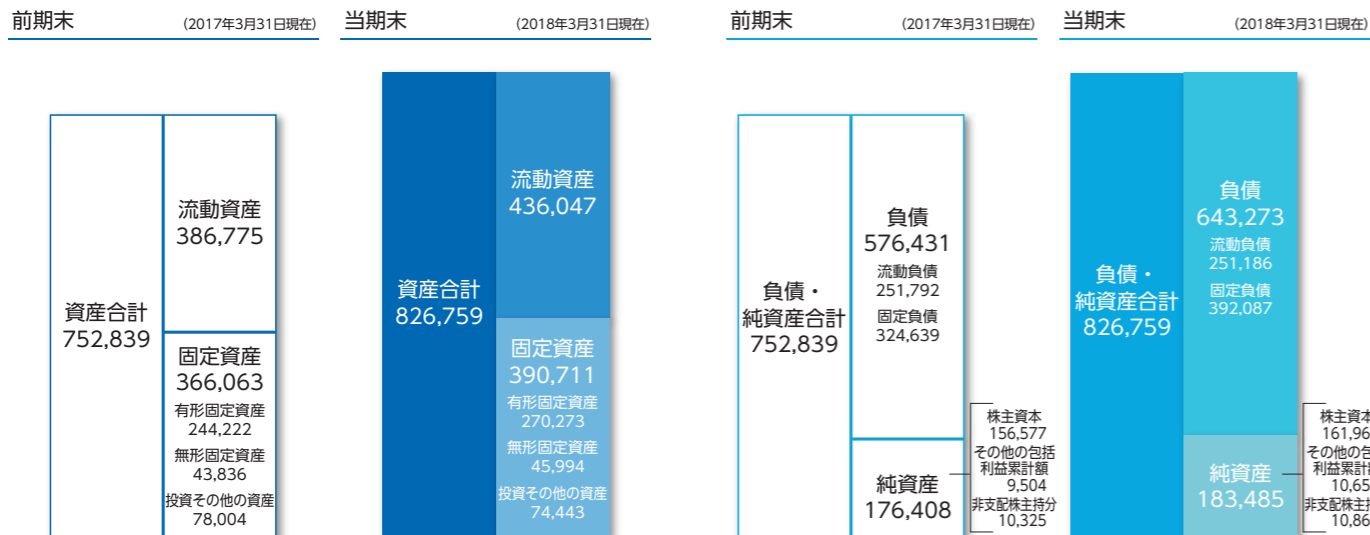
12,272
百万円



特別損失の減少等により、当期純利益は微増となりました。

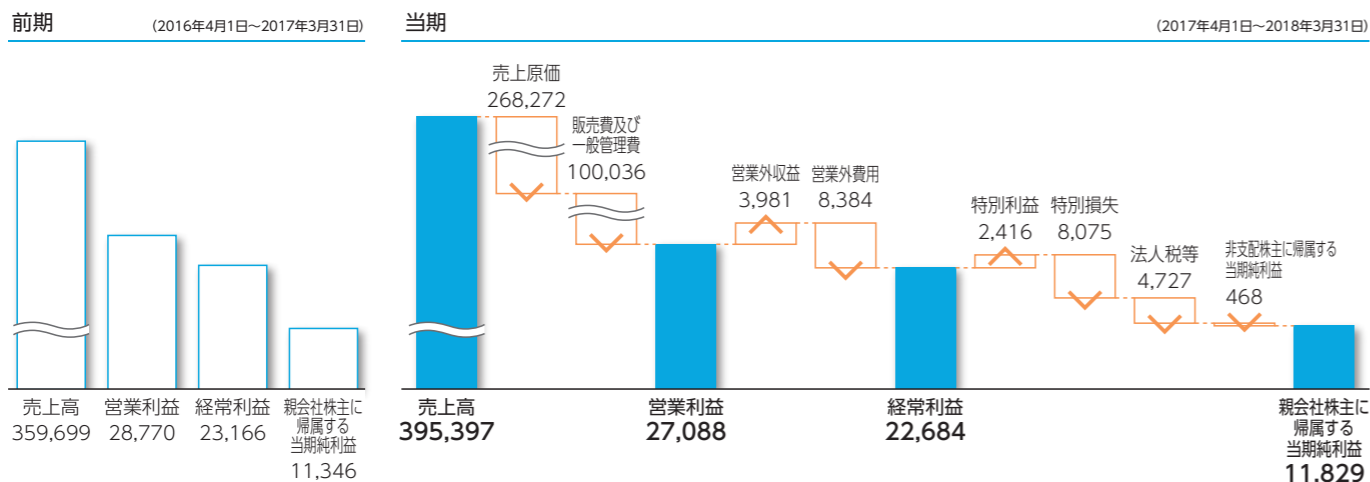
連結貸借対照表

(単位:百万円)



連結損益計算書

(単位:百万円)



中国 上海市に透析研修室「尼普洛 iCEP」を開設

2017年12月20日、ニプロの連結子会社である尼普洛貿易(上海)有限公司(本社:中華人民共和国 上海市、董事長:松野下 亮)が、上海市最大級の医療専門大学である上海健康医学院の構内に、透析研修室「尼普洛 iCEP(ニプロ アイセップ)」*を開設しました。中国では患者数の増加による透析治療の需要拡大に

伴い、透析装置をメンテナンスする臨床工学技士の需要が高まっています。当施設は、模擬透析室、機械室、装置メンテナンスなどを行う実習室の3室で構成されており、透析装置をメンテナンスする臨床工学技士や看護師の技能・知識向上のための教育・研修施設として活用されています。

*iCEP: institute for Clinical Engineer Practice の略称



ニプロESファーマ株式会社 ニプログループの一員に

2017年10月1日、ニプロは田辺製薬販売(株)の全株式を取得しました。また、これを機に同社は「ニプロESファーマ(株)」へと社名を変更し、ニプログループの一員として新たなスタートを切りました。(本社:大阪市北区、代表取締役社長:八田 雅夫)

なお、新社名の“ES”は“Essential”と“Establish”の頭文字2つを取ったもので、長期収載品およびジェネリック医薬品の両製剤を取り扱うニプログループの一員であるという思いが込められています。



ベルギー王国(メッヘレン)

面積こそ中国地方よりも少し小さいベルギーですが、ヨーロッパの中心に位置し、欧州連合やNATO等の国際機関の本部が設置されています。公用語は、南部の地域がフランス語、北部の地域がオランダ語、北東の一部地域がドイツ語の3か国語です。なお、日本語の「ベルギー」という表記は、オランダ語のベルヒエに由来しています。

ベルギーの医療事情

ベルギーの医療技術はヨーロッパでも高い水準を誇り、ベルギー国内のみならず他国からも患者が訪れます。日本と同じく国民皆保険制度があり、満足な治療を受けられる一方、少子高齢化等の問題から社会保険制度の今後の運用が議論されているところです。ベルギーの医療機器市場は、2014～2019年に米ドルベースで約2.7%の年平均成長率と予想されており*、比較的安定しています。

*参考文献:「Medtec Japan Online」 <http://www.medtecjapan.com/ja/news/2015/11/27/1346>



| | |
|----|------------------------|
| 人口 | 約1,132万人(2017年1月現在) |
| 面積 | 約30,500km ² |
| 言語 | オランダ語・フランス語 ・ドイツ語 |
| 首都 | ブリュッセル |

(出典:外務省ホームページより 2017年8月16日現在)

事業所の紹介 —ニプロメディカルヨーロッパN.V.—



ニプロメディカルヨーロッパN.V.では、ヨーロッパ、アフリカ、中東地域において、主力のダイアライザを中心にニプログループ医療機器全般の販売を行っています。2018年3月にオフィスがベルギーの首都ブリュッセルから北へ約30kmのメッヘレンに移転しました。新オフィスは、オフィス棟と医療従事者向けの専門的研修施設棟の2棟に分かれており、後者において、2018年5月より医療従事者向けの専門的研修サービスを提供しています。従業員数は、2018年3月末現在で96名(連結265名)、うち日本人駐在員は2名です。

観光名所・歴史について

数ある観光名所のなかで最も有名な場所の1つが、ブリュッセルの中心地にある大広場『グランプラス』です。1998年には世界遺産に登録されました。グランプラスでは、8月中旬の数日間に一面を花で覆う『フラワーカーペット』というイベントが隔年で開催されます。



◆グランプラス



◆フリッツ

食事について

チョコレートやビールなど、ベルギー名物はたくさんありますが、ここでは『フリッツ』という料理を紹介します。フリッツとはフライドポテトのことで、フライドポテトはベルギーが発祥といわれています。ベルギーでは、料理の付け合わせといえばパンよりもフリッツが一般的であり、ベルギーの人々にとっては主食のような存在です。

独自の風土・習慣について

毎年7月初旬頃、『オメガン』という中世を再現する時代祭が開催されます。オメガンとは「輪になって歩く」という意味で、中世の時代装束に身を包んだ何百人もの人々が、グランプラス周辺を列をなして歩き回ります。このお祭は、14世紀に、教会に祀られたマリア像の周りを人々が列をなして歩き回ったことに由来しているそうです。



◆オメガン

『開封済確認機能付きパッケージ』

～ 医療従事者の方々の作業効率向上のために ～



パッケージの短側面にあるミシン目に沿って開封すると、「開封済」の文字が現われる仕様の「開封済確認機能付きパッケージ」。これは、医療従事者の方々の声をきっかけにニプロが印刷会社とともに開発したものです。2016年12月以降、さまざまな医薬品のパッケージに導入し、医療従事者の方々より大好評をいただいています。2017年8月には公益社団法人日本包装技術協会主催の「日本パッケージングコンテスト2017」において「医薬品・医療用具包装部門賞」を、同年12月には世界包装機構主催の「ワールドスターコンテスト2018」において「ワールドスター賞」を受賞しました。

製品そのもののみならず、そのパッケージに至るまで「ユーザー目線」を大切に作るニプロ。このたび、当パッケージの開発に携わった当社 信頼性保証部 伊勢本 司に、製品への導入に至るまでの経緯と医療従事者の方々への思いを聞きました。



GOOD PACKAGING
2017 医薬品・医療用具包装部門賞

WORLDSTAR WINNER 2018
WPO
WORLD PACKAGING ORGANIZATION

開発者の声

開発者のご紹介



信頼性保証部 医薬品質保証課

伊勢本 司 (いせもとつかさ)

略歴:

2005年10月 ニプロファーマ(株)入社

2015年 4月 営業統合のため当社へ転籍

業務内容:

医療用医薬品の包装資材の表示・デザインを担当

開発のきっかけは？

医療現場へのアンケートの結果、「開封済の個装箱があるにもかかわらず、誤って未開封の箱を開封してしまうことがある」等、個装箱管理に悩む医療従事者の方が多いことが分かりました。そこで、一目で開封/未開封を判別できるようなパッケージをつくることで、医療従事者の方々の作業効率向上につながればと思い、開発に乗り出しました。

開発から製品化までに要した期間は？

約2年です。医療従事者の方々への聞き取り調査、試作品の作成、アンケートの実施で約1年、工場のラインテスト、デザイン作成にそれぞれ約6ヶ月かかりました。

開発にあたりとくに苦労した点は？

デザインの決定に最も苦労しました。せっかくの「開封済」の表示が目立たないようでは意味がなく、一方で「開封済」だけが目立ち、医薬品の販売名や含量の表示が見辛いようでは本末転倒になります。また、使用者に、意識することなく感覚的に開封してもらうにはどのように表示すれば良いか等、試行錯誤を重ねました。

製品への導入後、医療現場からの反応は？

管理しやすくなったという声はもちろんのこと、パッケージへの工夫を積極的に行う姿勢を評価して下さる医療従事者の方が多く、非常に驚きました。また、改善点についてのご意見や「このパッケージを医療用医薬品の標準化とするためにニプロが先導してほしい」とのお言葉もあり、このパッケージの導入により、多くの医療従事者の方々に高評価を得られたということを改めて実感しました。



今後も医療従事者の方々の声に耳を傾け、ユーザー目線のパッケージ開発に取り組みたいと考えています。

株主メモ

事業年度
株主確定のための基準日

毎年4月1日から翌年3月31日まで 単元株式数 100株
定時株主総会 3月31日 公告方法 電子公告 <http://www.nipro.co.jp/>
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主優待制度

| 保有株式数 | 継続保有期間 | 優待品 (JCBギフトカード) | 基準日 | 発送時期 |
|----------|----------|--------------------|---------|-------------------|
| 1,000株以上 | 1年未満 | なし | 毎年3月31日 | 基準日の属する年の 6月下旬 |
| | 1年以上3年未満 | 5,000円分 | | |
| | 3年以上5年未満 | 10,000円分 | | |
| | 5年以上 | 15,000円分 | | |

- (注) 1. 継続保有期間とは、1,000株以上の株式を取得したことが株主名簿に記載または記録された日から各基準日（毎年3月31日）までの継続して保有した期間をいいます。
2. 株主優待の対象となる株主さまは、継続保有期間のいずれの時点においても、同一株主番号で1,000株以上を1年以上保有していることが当社株主名簿の記載または記録により確認できる株主さまとします。
なお、相続、株主名簿からの除籍等により株主番号が変更になった場合は、その直後の基準日から起算いたします。
また、保有株式の一部につき、信託設定、貸し株、NISA（少額投資非課税制度）口座への移管等がなされ、同一株主番号でなくなった場合は、それぞれの株主番号の名義ごとに継続保有期間および株式数を確認します。
3. 郵便事情により優待品の到着が遅れる場合があります。

株主名簿管理人
同事務取扱場所

〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

| | 証券会社等に口座をお持ちの場合 | 証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合） |
|--|-----------------|---|
| 郵便物送付先 | お取引の証券会社等になります。 | 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部 |
| 電話お問い合わせ先 | | フリーダイヤル 0120-288-324 ※マイナンバー専用コールセンター 0120-84-0178 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00) |
| 各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更、マイ ナンバーのお届出等) | | みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース（みずほ銀行内の店舗）でもお取扱 いたします。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店* ※トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。 |
| 未払配当金のお支払 | | みずほ信託銀行*およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります) ※トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。 |
| ご 注 意 | | 支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。 特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。 |

確定申告の際には、同封の配当金計算書をご利用いただけます。ただし、株式数比例配分方式を選択された株主さまについては、お取引の証券会社等にご確認ください。



ニプロ株式会社

〒531-8510 大阪市北区本庄西3丁目9番3号
TEL 06-6372-2331 FAX 06-6375-0669



この報告書は、再生可能な植物油インキを使用しています。